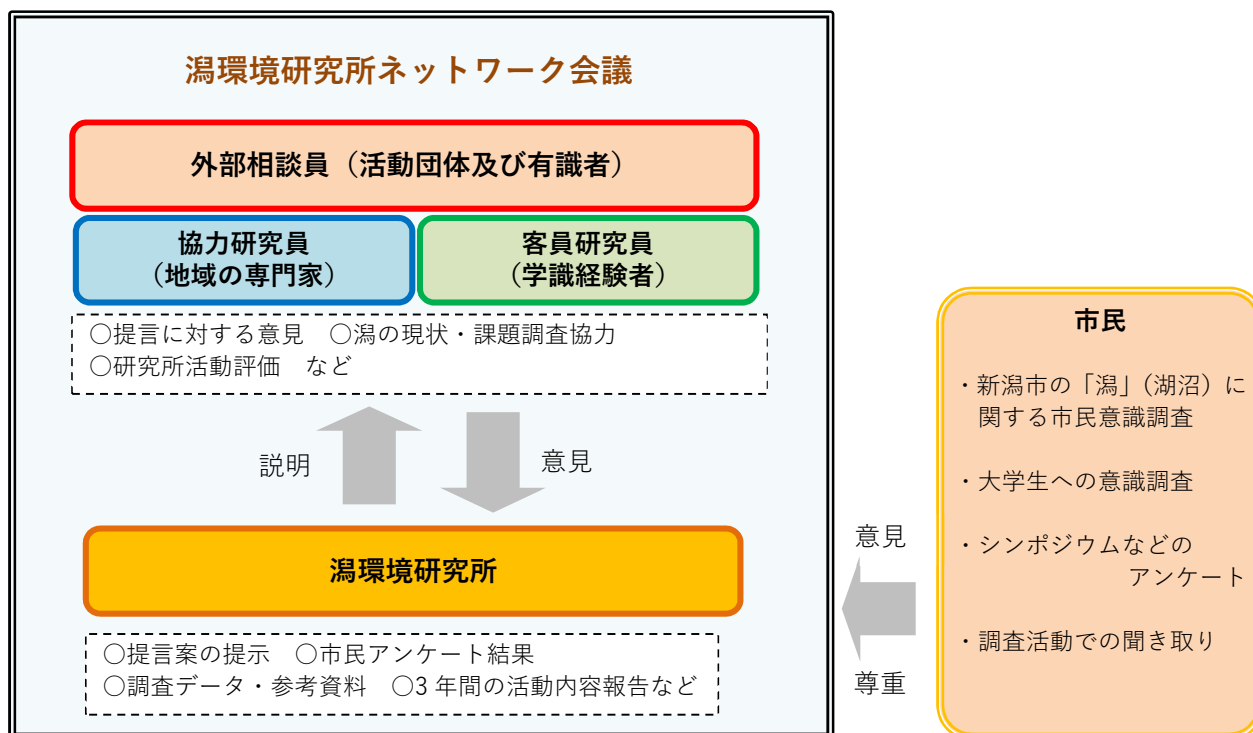


卷末資料

「提言：潟と人との未来へのメッセージ」検討体制及び検討過程

本報告書第3部「提言：潟と人との未来へのメッセージ」は、市民意識調査の結果などを踏まえながら、当研究所で開催しているネットワーク会議（主に平成 28 年度 第3回～第6回）において、関係者と意見交換しながら検討した。

■検討体制図



■検討過程

回	開催日	会議内容
第3回	7月28日	・提言方針についての説明 ・過去のネットワーク会議での講義などの内容から見えた16潟の現状説明 ・問題点の洗い出しと課題整理のための意見交換
第4回	9月29日	・市民意識調査（平成28年7月～8月実施）結果説明 ・「ラムサール条約都市・新潟」の考え方・可能性についての説明と意見交換
第5回	11月24日	・関係者から聴取した潟の現状・課題とりまとめ結果説明 ・提言の骨子案についての意見交換
第6回	1月26日	・大学生の潟に対するアンケート調査結果説明 ・今まで出た課題や意見内容の再確認と提言素案に対する意見交換 ・提言を実現するための具体的な取り組み案についての意見交換



潟環境研究所関連の報道一覧

○新聞

年度	掲 載 日	タイトル・内容	掲 載 紙
26	26 年 4 月 19 日	自然・歴史を積極発信 市・潟環境研究所が初会議	新潟日報
	26 年 7 月 5 日	潟の情報 FB で気軽に 市の研究所地図や写真交え紹介	新潟日報
	27 年 2 月 12 日	命は土でつながる (シンポジウム記事)	新潟日報
27	27 年 7 月 30 日	水辺の魅力、歴史 市が発信 「潟マップ」作製「潟のデジタル博物館」開設	新潟日報
	28 年 2 月 16 日	絵で見る潟の歴史 (太田協力研究員の屏風市役所展示記事)	新潟日報
	28 年 2 月 21 日	慈しむ 潟の恵み 市が食文化探るシンポ	新潟日報
28	28 年 5 月 17 日	潟との暮らし後世に 住民インタビューも収録 漁や実の採集 市が DVD で紹介	新潟日報
	28 年 5 月 18 日	新潟・潟環境研究所 DVD 製作 潟と生きる人々の暮らし後世に	毎日新聞
	28 年 5 月 21 日	潟とともに生きる人々 DVD 公開 追い込み漁、ヒシもぎ収録	読売新聞
	28 年 5 月 27 日	新潟市が DVD 制作 「潟」の記憶 後世につなぐ	産経新聞
	28 年 6 月 1 日	往時の潟 思いはせ DVD 上映会	新潟日報
	28 年 10 月 15 日	自然と暮らす姿映像に (潟環境研究所・事務局研究員隅杏奈さん)	新潟日報 夕刊
	28 年 11 月 17 日	潟の存在意義知って 芸文で佐潟フェス	新潟日報
	29 年 3 月 13 日	「松浜の池」ってどんなところ?	新潟日報 おとなプラス

○テレビ・ラジオ

放 送 日	内 容	媒 体
28 年 6 月 16 日～7 月 16 日	パブテレ「潟の記憶」ダイジェスト版放映	ケーブルテレビ (NCV 新潟センター)
28 年 6 月 1 日	週間ガイア通信 「潟の記憶」DVD 紹介	FM にいつ

○雑誌

掲 載 日	内 容	媒 体
27 年 7 月 17 日号、8 月 5 日号	潟デジタル博物館紹介記事	WEEK !

活動年表

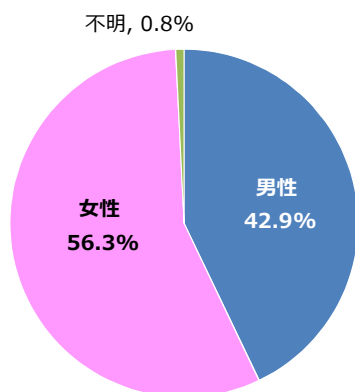
2014(平成 26) 年度	
4 月	・潟環境研究所発足 ・水の潟ログ運営協力 (水と土の文化推進課) ・平成 26 年度第 1 回ネットワーク会議 (定例会議) 開催
5 月	・フェイスブック開設 ・水の潟ログ運営協力 (水と土の文化推進課) ・平成 26 年度第 2 回ネットワーク会議 (定例会議) 開催
6 月	・水の潟ログ運営協力 (水と土の文化推進課) ・平成 26 年度第 3 回ネットワーク会議 (定例会議) 開催
7 月	・ニュースレター創刊号発行 ・平成 26 年度第 4 回ネットワーク会議 (定例会議) 開催
8 月	・動く市政教室への同行 ・夏期特別講義 (庁内外関係者向け勉強会) ・じゅんさい池公園の生きもの観察と外来生物対策 (主催: NPO 法人五泉トゲソの会ほか) への参加 (後援)
9 月	・とやの物語 2014 (とやの物語実行委員会) への参加 (環境講演会で所長講演) ・平成 26 年度第 5 回ネットワーク会議 (定例会議) 開催
10 月	・ラムサール条約湿地 (琵琶湖・片野鴨池) 等の視察 (滋賀県・石川県・福井県) ・平成 26 年度第 6 回ネットワーク会議 (定例会議) 開催
11 月	・平成 26 年度第 7 回ネットワーク会議 (定例会議) 開催
12 月	・平成 26 年度第 8 回ネットワーク会議 (定例会議) 開催
1 月	・平成 26 年度第 9 回ネットワーク会議 (定例会議) 開催
2 月	・ニュースレター第 2 号発行 ・水と土の芸術祭 2015 第 2 回プレシンポジウム (第 2 部で研究成果報告会) 開催
3 月	・公式サイト「潟のデジタル博物館」開設 ・潟マップ (初版) 発行 ・平成 26 年度第 10 回ネットワーク会議 (定例会議) 開催

2015(平成 27) 年度	
4 月	・岩室中学校「総合的な学習の時間」への協力（研究所訪問対応） ・春期特別講義開催（新潟市歴史博物館で庁内外関係者向け勉強会）
5 月	・動く市政教室への同行 ・平成 27 年度第 1 回ネットワーク会議（定例会議）開催
6 月	・研究成果報告書発行（平成 26 年度分）
7 月	・高志中等教育学校「総合的な学習の時間」への協力（研究所訪問対応） ・とやの潟環境遊覧 2015（主催：とやの潟環境舟運実行委員会）への参加（運営協力） ・水と土の芸術祭 2015 への協力（会場内でのポスター展示、ホームページでの情報発信など、7 月～10 月まで） ・平成 27 年度第 2 回ネットワーク会議（定例会議）開催 ・ニュースレター第 3 号発行
8 月	・動く市政教室への同行 ・木場潟・河北潟等視察（石川県） ・「潟の生き物保護大作戦 in 新潟」（主催：雪国自然学校ほか）への参加（後援）
9 月	・とやの物語 2015（とやの物語実行委員会）への参加（環境講演会で所長講演） ・平成 27 年度第 3 回ネットワーク会議（定例会議）開催 ・新潟大学附属新潟小学校「総合的な学習の時間」への協力（鳥屋野潟でワークショップ実施） ・上堰潟水生動物調査実施
10 月	・みんなで考えよう じゅんさい池公園の現在・未来（主催：東山の下地区コミュニティ協議会）への協力（所長基調講演、パネルディスカッション参加）／同日にじゅんさい池関係者向けワークショップ開催（企画協力・当日運営） ・市民ハクチョウ・ホワイテ・フェスタへの参加（ステージ発表・パネル展示）
11 月	・平成 27 年度第 4 回ネットワーク会議（定例会議）開催
12 月	・ラムサール条約湿地（伊豆沼・化女沼・蕪栗沼）等視察（宮城県） ・庁内関係課による「潟」についての意見交換会議開催
1 月	・新潟大学法学部「特殊講義（新潟市の行政）」での講義 ・平成 27 年度第 5 回ネットワーク会議（定例会議）開催
2 月	・「越後平野と潟の屏風絵図（太田研究補助員制作）」及びパネル展示（市役所本館 1 階市民ホール） ・北区自治協議会 地域・環境部会での所長による講演 ・「潟」シンポジウム（水と土の文化推進課と共催）での（第 2 部での研究成果報告会） ・雁と白鳥シンポジウム開催（ビュー福島潟ほかと共催） ・ニュースレター第 4 号発行
3 月	・ラムサール条約湿地（宮島沼・ウトナイ湖）等視察（北海道） ・潟マップ（第 2 版）発行 ・記録映像「潟の記憶」完成 ・平成 27 年度第 6 回ネットワーク会議（定例会議）開催 ・超小型モビリティを活用した地域ブランディングのための鳥屋野潟周辺観光資源調査（新潟県事業）への協力 ・新潟市中央図書館企画展「新潟市の里潟」（環境政策課）への協力（パネル展示）
2016(平成 28) 年度	
4 月	・平成 28 年度第 1 回ネットワーク会議（定例会議）開催 ・動く市政教室への同行
5 月	・記録映像「潟の記憶」一般公開 ・記録映像「潟の記憶」上映会開催 ・平成 28 年度第 2 回ネットワーク会議（定例会議）開催
6 月	・研究成果報告書発行（平成 27 年度分） ・ふれあいスクール事業 第 1 回地域の自然を知ろう！～福島潟やピオトープについて～（豊栄地区公民館）での事務局研究員による講演 ・週間ガイア通信（エフエムにいつラジオ番組）に出演（「潟の記憶」紹介）
7 月	・第 1 回環境行政研究会（市職員向け研修）での所長による講演 ・高志中等教育学校「総合的な学習の時間」への協力（研究所訪問対応） ・2016 とやの潟環境舟運（とやの潟環境舟運 2016 実行委員会）への参加（運営協力） ・潟めぐりスタンプラリー（文化創造推進課）企画・実施協力 ・ニュースレター第 5 号発行 ・平成 28 年度第 3 回ネットワーク会議（定例会議）開催
8 月	・ラムサールシンポジウム 2016 in 中海・宍道湖への参加（ポスター発表） ・動く市政教室への同行
9 月	・赤塚中学校「職場体験学習」への協力（実施に伴う生徒の受け入れ） ・平成 28 年度第 4 回ネットワーク会議（定例会議）開催
10 月	・新潟大学法学部「特殊講義（新潟市の行政）」での講義 ・新潟市中央図書館企画展「ラムサール条約湿地 佐潟」（環境政策課）への協力（パネル展示）
11 月	・佐潟 20 ラムサールフェスへの協力（環境政策課、文化創造推進課と開催） ・平成 28 年度第 5 回ネットワーク会議（定例会議）開催
12 月	・新潟市の鳥「ハクチョウ」と潟エコツアー（環境政策課、文化創造推進課と共同開催）
1 月	・平成 28 年度第 6 回ネットワーク会議（定例会議）開催
2 月	・ニュースレター第 6 号発行
3 月	・平成 28 年度第 7 回ネットワーク会議（定例会議）開催 ・潟と人との未来への提言 平成 26 年～28 年度 潟環境研究所活動報告書 発行

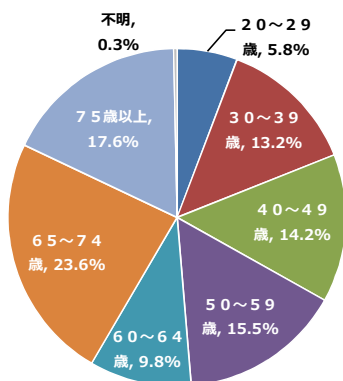
新潟市の「潟」（湖沼）に関する市民意識調査結果ほか

●調査結果

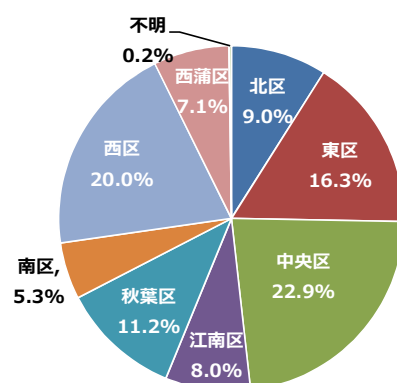
【問1】 あなたの性別はどちらですか。
(○は1つだけ)



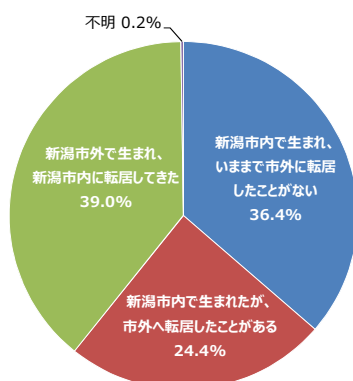
【問2】 あなたの年齢はおいくつですか。
(平成28年1月1日現在)(○は1つだけ)



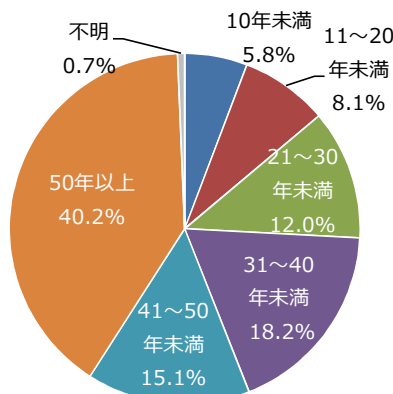
【問3】 あなたはどこの区にお住まいですか。(○は1つだけ)



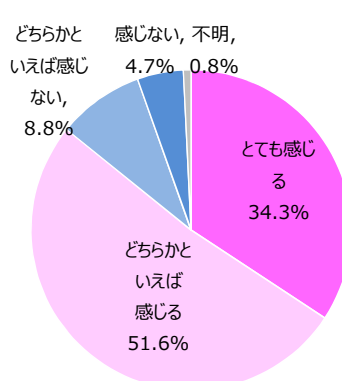
【問4】 あなたの新潟市での居住歴は、次のうちどれですか。(○は1つだけ)



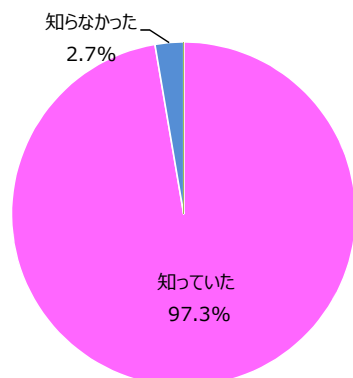
【問5】 新潟市に通算してどのくらい住んでいますか。(○は1つだけ)



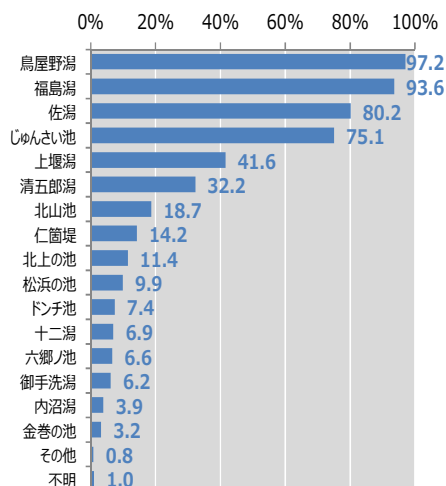
【問6】 あなたは新潟市内の水辺(海・川・潟や湖沼)に親しみを感ずますか。(○は1つだけ)



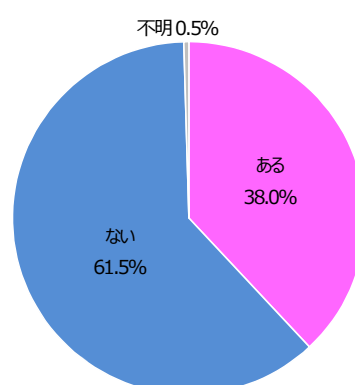
【問7】 新潟市内に潟(湖沼)があることを知っていましたか。



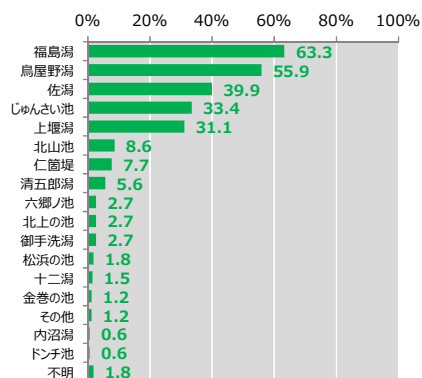
【問8】 新潟市内の潟(湖沼)で、知っているものはどれですか。(○はいくつでも)



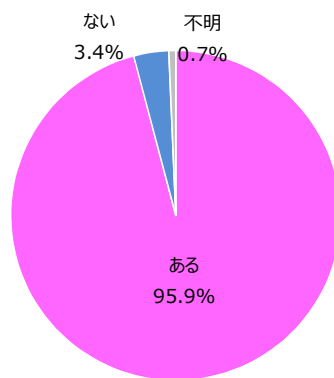
【問9】 友人・知人等に、新潟市の潟(湖沼)を見どころ(観光地など)として紹介したことはありますか。(○は1つだけ)



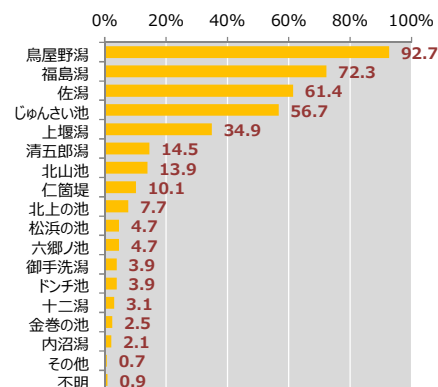
【問 9】-1 【問 9】で「1. ある」と回答された方に対するの質問です。どの潟(湖沼)を紹介しましたか。
(○はいくつでも)



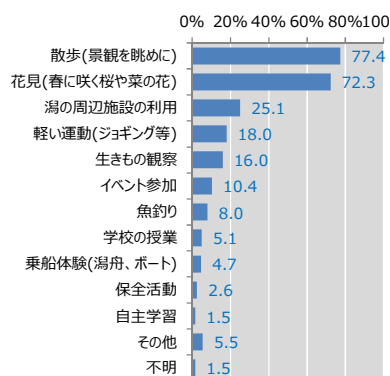
【問 10】 実際に潟(湖沼)を訪れたことがありますか。(○は1つだけ)



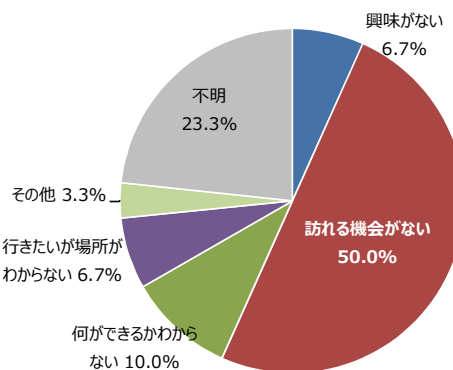
【問 10】-1 【問 10】で「1. ある」と回答された方に対するの質問です。実際に訪れたことがある潟(湖沼)はどれですか。
(○はいくつでも)



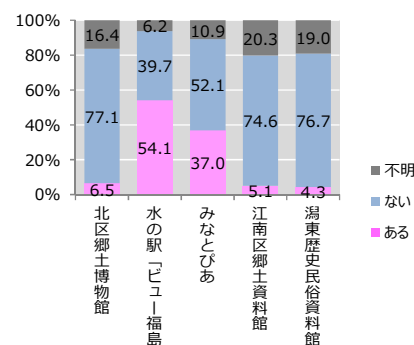
【問 10】-2 【問 10】で「1. ある」と回答された方に対するの質問です。潟(湖沼)を訪れた目的はどれですか。
(○はいくつでも)



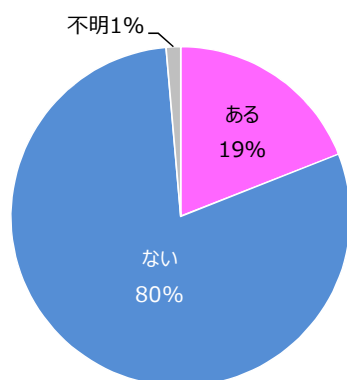
【問 10】-3 【問 10】で「2. ない」と回答された方に対するの質問です。訪れたことが無い理由はどれですか。
(○は1つだけ)



【問 11】 新潟市内には潟(湖沼)に関する情報や歴史を知ることができる施設がありますが、行ったことがありますか。

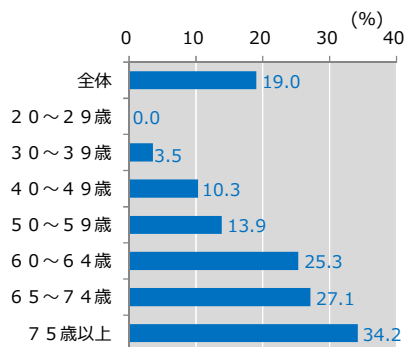


【問 12】 新潟市内の潟(湖沼)でとれた魚(コイ・フナなど)や植物(ハスの実・ヒシの実など)を食べたことがありますか。



★クロス集計

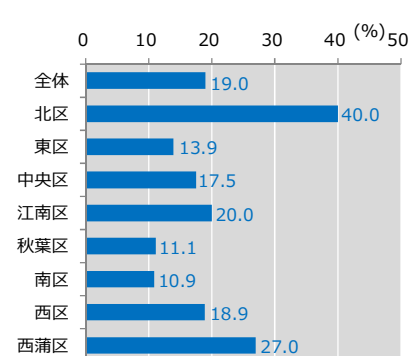
【問 12】で「食べたことがある」と答えた人の年代別割合



・年齢が高くなるにつれて、潟でとれた動植物を食べた経験のある人の割合が多くなる。

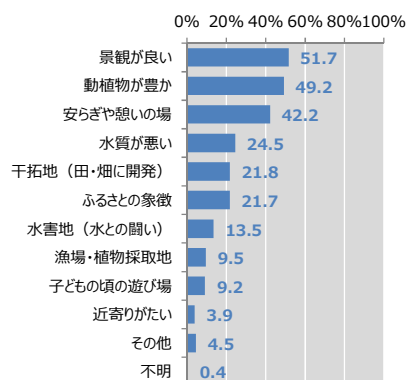
★クロス集計

【問 12】で「食べたことがある」と答えた人の地区別割合



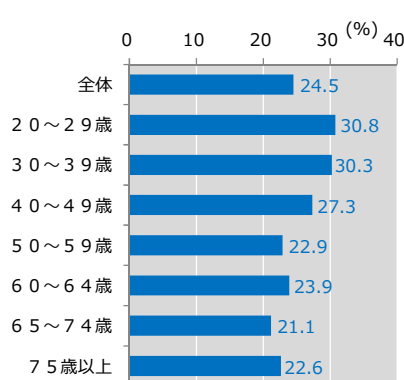
・潟でとれた動植物を食べた経験については、北区(40%)、西蒲区(27%)で著しく高い。

【問 13】 「潟」という言葉を聞いて思い浮かぶこと、イメージはどれですか。
(○は3つまで)



★クロス集計

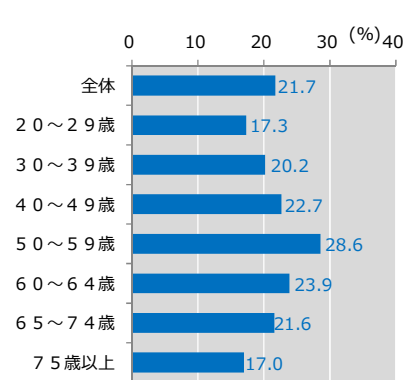
【問 13】で「水質が悪い」と答えた人の年代別割合



・若い年代ほど「水質が悪い」と感じている。

★クロス集計

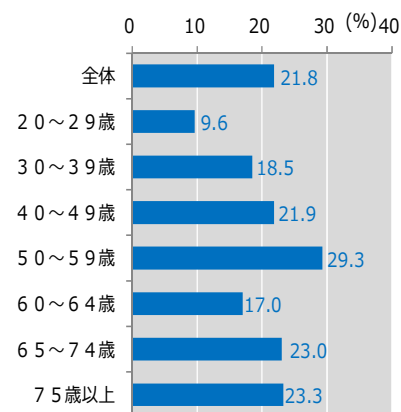
【問 13】で「ふるさとの象徴」と答えた人の年代別割合



・他世代に比べ、50代で「ふるさとの象徴」のイメージが強い。

★クロス集計

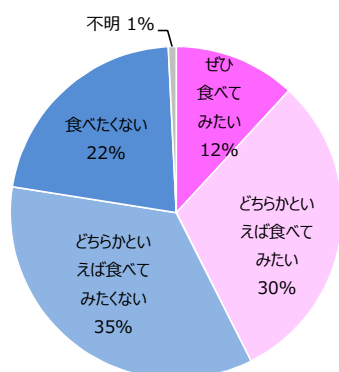
【問 13】で「干拓地」と答えた人の年代別割合



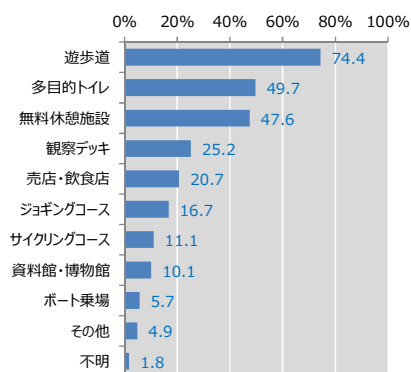
・他世代に比べ、50代で「干拓地 (田・畑に開発)」のイメージが強い。

【問 14】 最近、潟(湖沼)でとれた魚(コイ・フナなど)や植物 (ハスの実・ヒシの実など)をイベントなどで食べることができる機会が増えています。

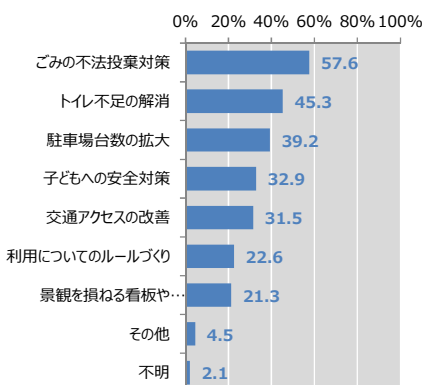
今後、潟(湖沼)でとれる魚や植物を食べてみたいと思いますか。(○は1つだけ)



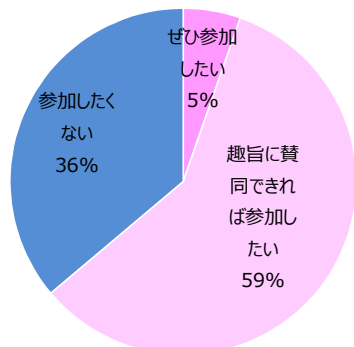
【問 15】 潟(湖沼)を、より快適な親水空間とするために必要だと考える周辺整備はどれですか。(○は3つまで)



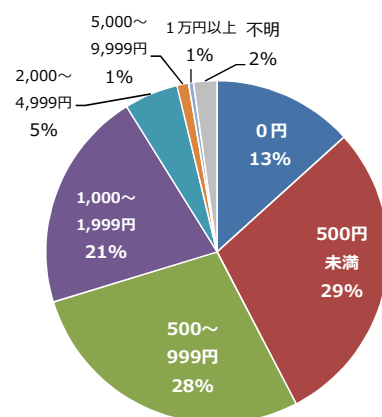
【問 16】 潟(湖沼)を、より快適な親水空間とするために必要だと考える対策はどれですか。(○は3つまで)



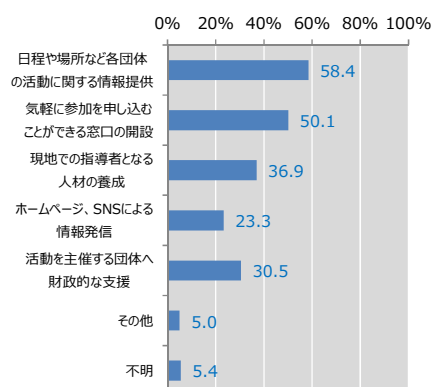
【問 17】 今後、潟(湖沼)の環境保全活動 (自然観察調査、清掃活動、外来種駆除など)があれば参加してみたいと思いますか。(○は1つだけ)



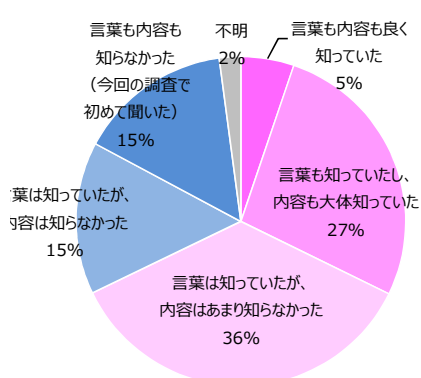
【問 18】 潟(湖沼)の環境保全活動のために、あなたが1年間で負担してもよいと思う金額は、どれくらいですか。(○は1つだけ)



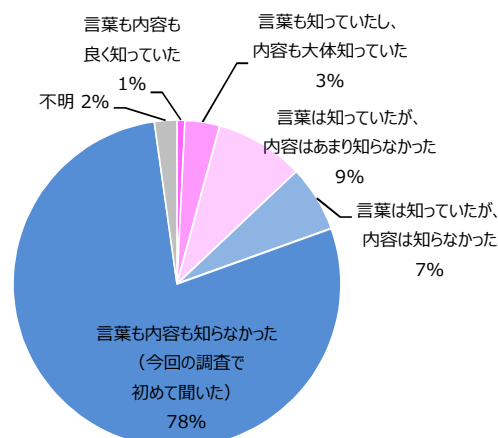
【問 19】 潟の環境保全活動に多くの方々に参加していただけるようにするために、行政としてどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)



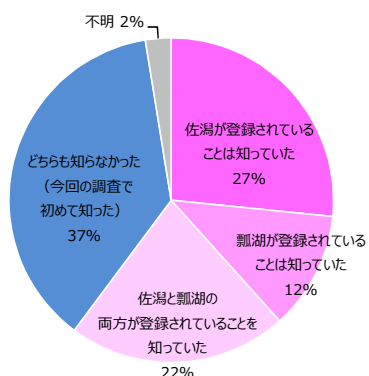
【問 20】 「ラムサール条約」という言葉やその内容を知っていましたか。(〇は1つだけ)



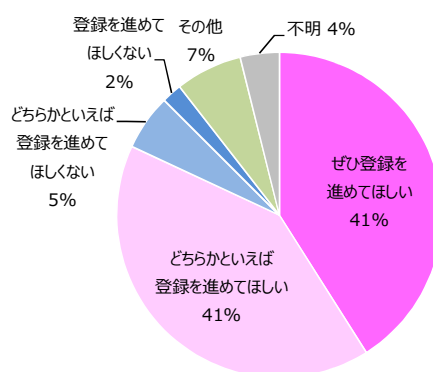
【問 21】 「ワイズユース(賢明な利用)」という言葉やその内容を知っていましたか。(〇は1つだけ)



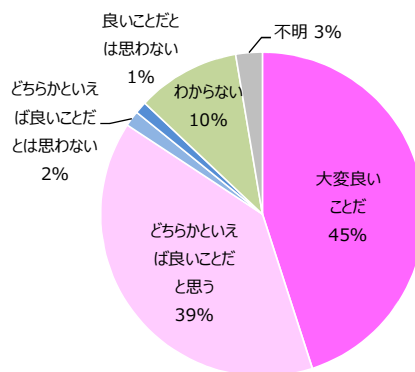
【問 22】 佐潟や瓢湖がラムサール条約湿地に登録されていることを知っていますか。(〇は1つだけ)



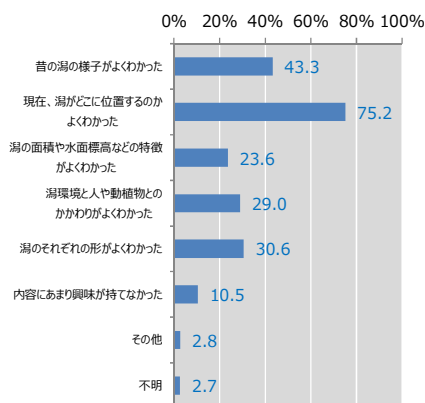
【問 23】 福島潟や鳥屋野潟がラムサール条約登録候補地としてあげられていることについて、どう思いますか。(〇は1つだけ)



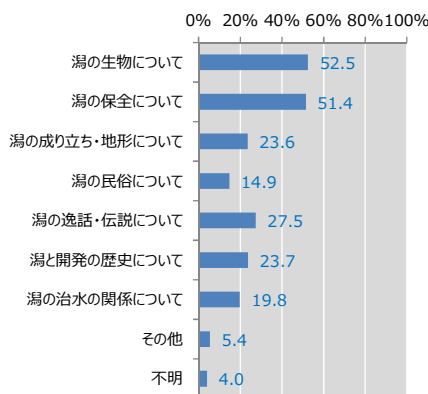
【問 24】 行政として「潟環境研究所」を立ち上げて、潟(湖沼)を「里潟」という観点で調査・研究を進めていますか、どう思いますか。(〇は1つだけ)



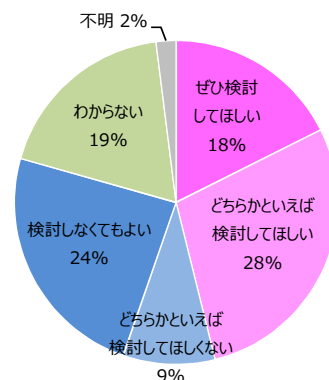
【問 25】 同封した「潟マップ」は、潟環境研究所が作成した潟(湖沼)に関するパンフレットです。ご覧になって、どのように思いましたか。(〇は3つまで)



【問 26】 今後、潟(湖沼)についてどのようなことを知りたいですか。(〇は3つまで)



【問 27】 今後、潟の自然や民俗などをテーマとした博物館を、新潟市が新たに建てることを検討することは、どう思いますか。(〇は1つだけ)



●調査票（全8ページ）

新潟市の「潟」（湖沼）に関するアンケートのお願い

市民の皆さまより市政にご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

現在、本市にある潟（湖沼）は、昭和20年代以降、干拓、水田の乾田化、都市開発などが進む中で、かろうじて残された貴重な自然環境です。本市では、平成26年4月に潟環境研究所を立ち上げ、これらの潟（湖沼）の調査、研究を始めました。

今回、市民の皆さまが、これからより良く水と親しみ生きていくための方向性を検討するため、潟（湖沼）に関するアンケートを実施することになりました。

この調査は、新潟市内にお住まい（6月1日現在）の満20歳以上の方の中から、無作為に2,000人の方をお選びし、実施するもので、このたびあなた様をお願いすることになりました。

ご回答いただいた内容は、調査結果をまとめるために利用し、回答者個人が特定されることは一切ございません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、この調査票にご記入のうえ、返信用封筒で **8月8日(月)まで** にご投函いただきますよう、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

平成28年7月

新潟市長 篠田 昭

【ご記入にあたってのお願い】

1. 封筒の宛名の方が記入してください。

（ご本人の記入が難しい場合には、ご家族の方などが代わって、ご本人の意見を記入してください。）

2. 特にことわりのない限り、全ての質問にお答えください。

ただし、質問によって該当者にだけお答えいただく場合がありますが、説明に従ってお答えください。

3. 回答は、あてはまる項目の番号に○をつけてください。

質問文の後に、（○は1つだけ）（○は3つまで）（○はいくつでも）などのことわり書きがあります。これは、お答えいただく「○の数」を意味しています。

「その他」を選んだ場合は、具体的な内容をご記入ください。

○同封のパンフレットについて

・潟マップは、当研究所が作成した潟（湖沼）に関するパンフレットです。アンケート回答のご参考としてください。

・当研究所では、潟端に住む人々に焦点を当てた『「潟」の記憶』と題する記録映像を公開しています。同封のパンフレットはその内容をご紹介した記事です。この映像は視聴覚資料を取り扱う市立図書館や公式ウェブサイト「潟のデジタル博物館」でご覧いただけます。

新潟市 潟のデジタル博物館
NIIGATA City Wetland Digital Museum

新潟市内に点在する湖沼「潟」に関わる資料や情報をまとめたデジタル博物館です。
URL <http://www.niigata-satokata.com/>



※ 調査内容で不明な点などございましたら、下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

新潟市 地域・魅力創造部 潟環境研究所

電話：025-226-2072（直通） FAX：025-224-3850

あなたご自身のことについておうかがいします。

【問 1】 あなたの性別はどちらですか。（○は 1 つだけ）

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

【問 2】 あなたの年齢はおいくつですか。（平成 28 年 1 月 1 日現在）（○は 1 つだけ）

- | | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| 1. 20～29 歳 | 2. 30～39 歳 | 3. 40～49 歳 | 4. 50～59 歳 |
| 5. 60～64 歳 | 6. 65～74 歳 | 7. 75 歳以上 | |

【問 3】 あなたはどこの区にお住まいですか。（○は 1 つだけ）

- | | | | |
|--------|-------|--------|--------|
| 1. 北区 | 2. 東区 | 3. 中央区 | 4. 江南区 |
| 5. 秋葉区 | 6. 南区 | 7. 西区 | 8. 西蒲区 |

【問 4】 あなたの新潟市での居住歴は、次のうちどれですか。（○は 1 つだけ）

※合併前の市町村も含めてお答えください。

- | |
|------------------------------|
| 1. 新潟市内で生まれ、いままで市外に転居したことがない |
| 2. 新潟市内で生まれたが、市外へ転居したことがある |
| 3. 新潟市外で生まれ、新潟市内に転居してきた |

【問 5】 新潟市に通算してどのくらい住んでいますか。（○は 1 つだけ）

※合併前の市町村での居住年数も含めてお答えください。

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 1. 10 年未満 | 2. 11～20 年未満 | 3. 21～30 年未満 |
| 4. 31～40 年未満 | 5. 41～50 年未満 | 6. 50 年以上 |

新潟市の潟（湖沼）に関する意識や経験についておうかがいします。

【問 6】 あなたは新潟市内の水辺（海・川・潟や湖沼）に親しみを感じますか。（○は 1 つだけ）

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. とても感じる | 2. どちらかといえば感じる |
| 3. どちらかといえば感じない | 4. 感じない |

【問 7】 新潟市内に潟（湖沼）があることを知っていましたか。

- | | |
|-----------|--------------|
| 1. 知っていた | →【問 8】以降の質問へ |
| 2. 知らなかった | →【問 13】へ |

○【問 8】から【問 12】までは、【問 7】で「1. 知っていた」と回答された方がお答えください。

【問 8】新潟市内の潟(湖沼)で、知っているものはどれですか。(○はいくつでも)

- | | | | |
|-----------|----------|---------|----------|
| 1. 福島潟 | 2. 内沼潟 | 3. 十二潟 | 4. 松浜の池 |
| 5. じゅんさい池 | 6. 鳥屋野潟 | 7. 清五郎潟 | 8. 北山池 |
| 9. 六郷ノ池 | 10. 北上の池 | 11. 佐潟 | 12. 御手洗潟 |
| 13. ドンチ池 | 14. 金巻の池 | 15. 上堰潟 | 16. 仁箇堤 |
| 17. その他 (| | |) |

【問 9】友人・知人等に、新潟市の潟(湖沼)を見どころ(観光地など)として紹介したことはありますか。(○は 1 つだけ)

1. ある →【問 9】－1 へ
2. ない →【問 10】へ

【問 9】－1 【問 9】で「1. ある」と回答された方に対するの質問です。

どの潟(湖沼)を紹介しましたか。(○はいくつでも)

- | | | | |
|-----------|----------|---------|----------|
| 1. 福島潟 | 2. 内沼潟 | 3. 十二潟 | 4. 松浜の池 |
| 5. じゅんさい池 | 6. 鳥屋野潟 | 7. 清五郎潟 | 8. 北山池 |
| 9. 六郷ノ池 | 10. 北上の池 | 11. 佐潟 | 12. 御手洗潟 |
| 13. ドンチ池 | 14. 金巻の池 | 15. 上堰潟 | 16. 仁箇堤 |
| 17. その他 (| | |) |

【問 10】実際に潟(湖沼)を訪れたことがありますか。(○は 1 つだけ)

1. ある →【問 10】－1 と【問 10】－2 へ
2. ない →【問 10】－3 へ

【問 10】－1 【問 10】で「1. ある」と回答された方に対するの質問です。

実際に訪れたことがある潟(湖沼)はどれですか (○はいくつでも)

- | | | | |
|-----------|----------|---------|----------|
| 1. 福島潟 | 2. 内沼潟 | 3. 十二潟 | 4. 松浜の池 |
| 5. じゅんさい池 | 6. 鳥屋野潟 | 7. 清五郎潟 | 8. 北山池 |
| 9. 六郷ノ池 | 10. 北上の池 | 11. 佐潟 | 12. 御手洗潟 |
| 13. ドンチ池 | 14. 金巻の池 | 15. 上堰潟 | 16. 仁箇堤 |
| 17. その他 (| | |) |

【問 10】－ 2 【問 10】で「1. ある」と回答された方に対する質問です。

潟(湖沼)を訪れた目的はどれですか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 1. 散歩(景観を眺めに) | 2. 花見(春に咲く桜や菜の花) |
| 3. 生きもの観察(講座なども含む) | 4. 軽い運動(ジョギングやウォーキング) |
| 5. 魚釣り | 6. 潟の周辺施設の利用 |
| 7. 乗船体験(潟舟、ボート、カヌー) | 8. 学校の授業 |
| 9. 自主学習 | 10. イベント参加 |
| 11. 保全活動(清掃活動、外来種駆除活動など) | |
| 12. その他() | |

【問 10】－ 3 【問 10】で「2. ない」と回答された方に対する質問です。

訪れたことが無い理由はどれですか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. 興味がない | 2. 訪れる機会がない |
| 3. 何ができるかわからない | 4. 行きたいが場所がわからない |
| 5. その他() | |

【問 11】 新潟市内には潟(湖沼)に関する情報や歴史を知ることができる施設がありますが、訪れたことがありますか。(それぞれの施設すべてについて、1. か 2. に○をしてください)

- | | | |
|------------------|-------|-------|
| ○北区郷土博物館 | 1. ある | 2. ない |
| ○水の駅「ビュー福島潟」 | 1. ある | 2. ない |
| ○みなとぴあ(新潟市歴史博物館) | 1. ある | 2. ない |
| ○江南区郷土資料館 | 1. ある | 2. ない |
| ○潟東歴史民俗資料館 | 1. ある | 2. ない |

【問 12】 新潟市内の潟(湖沼)でとれた魚(コイ・フナなど)や植物(ハスの実・ヒシの実など)を食べたことがありますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

○ここから最後の質問まで、すべての方がお答えください。

【問 13】 「潟」という言葉を聞いて思い浮かぶこと、イメージはどれですか。(○は3つまで)

- | | | |
|----------------|-------------|--------------|
| 1. 景観が良い | 2. 動植物が豊か | 3. 安らぎや憩いの場 |
| 4. ふるさとの象徴 | 5. 漁場・植物採取地 | 6. 子どもの頃の遊び場 |
| 7. 干拓地(田・畑に開発) | 8. 水質が悪い | 9. 近寄りがたい |
| 10. 水害地(水との闘い) | 11. その他() | |

【問 14】 最近、潟(湖沼)でとれた魚(コイ・フナなど)や植物(ハスの実・ヒシの実など)をイベントなどで食べることができる機会が増えています。今後、潟(湖沼)でとれる魚や植物を食べてみたいと思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. ぜひ食べてみたい | 2. どちらかといえば食べてみたい |
| 3. どちらかといえば食べたくない | 4. 食べたくない |

新潟市の潟(湖沼)に関する保全意識や整備についておうかがいします。

潟(湖沼)は、希少種をはじめ、さまざまな動植物の生息・生育の場となっているほか、大雨の際に水を貯留する機能を持つなど水害抑制に重要な役割を果たしています。
また、動植物の採集場や憩いの場として、人間活動を豊かにしてくれる役割も持っています。

【問 15】 潟(湖沼)を、より快適な親水空間とするために必要だと考える周辺整備はどれですか。(○は3つまで)

- | | | | |
|-------------------|--------------|------------|-----------|
| 1. 遊歩道 | 2. ボート乗場 | 3. 観察デッキ | 4. 多目的トイレ |
| 5. 無料休憩施設 | 6. 売店・飲食店 | 7. 資料館・博物館 | |
| 8. ジョギング・ランニングコース | 9. サイクリングコース | | |
| 10. その他 () | | | |

【問 16】 潟(湖沼)を、より快適な親水空間とするために必要だと考える対策はどれですか。(○は3つまで)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 交通アクセスの改善 | 2. 駐車場台数の拡大 |
| 3. トイレ不足の解消 | 4. 景観を損ねる看板や施設の規制 |
| 5. 子どもへの安全対策 | 6. ゴミの不法投棄対策 |
| 7. 利用についてのルールづくり | 8. その他 () |

【問 17】 今後、潟(湖沼)の環境保全活動(自然観察調査、清掃活動、外来種駆除など)があれば参加してみたいと思いますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|------------|-------------------|------------|
| 1. ぜひ参加したい | 2. 趣旨に賛同できれば参加したい | 3. 参加したくない |
|------------|-------------------|------------|

【問 18】 潟(湖沼)の環境保全活動のために、あなたが1年間で負担してもよいと思う金額は、どれくらいですか。(○は1つだけ)

- | | | |
|---------------|---------------|----------------|
| 1. 0円 | 2. 500円未満 | 3. 500～999円 |
| 4. 1000～1999円 | 5. 2000～4999円 | 6. 5000円～9999円 |
| 7. 10000円以上 | | |

【問 22】 佐潟や瓢湖(阿賀野市)がラムサール条約湿地に登録されていることを知っていますか。
(○は 1 つだけ)

1. 佐潟が登録されていることは知っていた
2. 瓢湖が登録されていることは知っていた
3. 佐潟と瓢湖の両方が登録されていることを知っていた
4. どちらも知らなかった (今回の調査で初めて知った)

環境省では、ラムサール条約湿地の登録を推進するため、ラムサール条約湿地としての国際基準を満たすと認められる湿地 (潜在候補地※) を全国から 172 ヶ所選定しています。新潟市内では福島潟と鳥屋野潟が選定されています。

※潜在候補地は、国際基準を満たすと認められる湿地を抽出したものです。今後、ラムサール条約湿地として登録するためには、国際基準を満たすだけでなく、(1)地元自治体等の賛意、(2)鳥獣保護法、自然公園法等の国内法による保護担保措置が必要になります。(環境省ホームページより)

【問 23】 福島潟や鳥屋野潟がラムサール条約登録候補地としてあげられていることについて、どう思っていますか。(○は 1 つだけ)

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. ぜひ登録を進めてほしい | 2. どちらかといえば登録を進めてほしい |
| 3. どちらかといえば登録を進めてほしくない | 4. 登録を進めてほしくない |
| 5. その他 (|) |

新潟市の「潟」(湖沼)に関する研究活動についておうかがいします。

潟環境研究所が称する「里潟(さとかた)」について

「里山」という言葉は聞かれたことがあると思います。「里山」は、長い年月にわたり人間の営みが維持され、生物多様性と生産性がともに高くなった山や森林などからなる地域のことをいいます。

新潟ではかつて、潟の魚類や植物が活用されるとともに、潟底の土までも肥料として利用されてきました。

当研究所は、このように人のかかわりによって潟の物質循環が維持され、多様な動植物の生息・生育する豊かな湿地環境が保たれるとともに、人々の暮らしや文化・景観と深くかかわり、自然と人が共生する湿地としての潟を、「里山」と同じように、「里潟(さとかた)」と呼び、調査・研究しています。

【問 24】 行政として「潟環境研究所」を立ち上げて、潟(湖沼)を「里潟」という観点で調査・研究を進めていますが、どう思いますか。(○は 1 つだけ)

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1. 大変良いことだ | 2. どちらかといえば良いことだと思う |
| 3. どちらかといえば良いことだとは思わない | 4. 良いことだとは思わない |
| 5. わからない | |

【問 25】 同封した「潟マップ」は、潟環境研究所が作成した潟(湖沼)に関するパンフレットです。ご覧になって、どのように思いましたか。(○は3つまで)

1. 昔の潟(湖沼)の様子がよくわかった。(潟の変遷)
2. 現在、潟(湖沼)がどこに位置するのかよくわかった。(潟の分布図)
3. 潟(湖沼)の面積や水面標高(水位)などの特徴がよくわかった。(潟の解説)
4. 潟(湖沼)の環境と人や動植物との関わりがよくわかった。(裏面の解説)
5. 潟(湖沼)のそれぞれの形がよくわかった(表紙のイラスト)
6. 内容にあまり興味が持てなかった
7. その他 ()

【問 26】 今後、潟(湖沼)についてどのようなことを知りたいですか。(○は3つまで)

1. 潟(湖沼)の生物について(例: 動植物の生態)
2. 潟(湖沼)の保全について(例: 水質改善、外来種駆除、潟環境の復元・再生)
3. 潟(湖沼)の成り立ち・地形について
4. 潟(湖沼)の民俗について(例: 習俗、民間伝承、生業)
5. 潟(湖沼)の逸話・伝説について
6. 潟(湖沼)と開発の歴史について(例: 潟の干拓、消滅した潟)
7. 潟(湖沼)と治水の関係について(例: 洪水調節機能、田んぼダム)
8. その他 ()

【問 27】 今後、潟(湖沼)の自然や民俗などをテーマとした博物館を、新潟市が新たに建てることを検討することは、どう思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. ぜひ検討してほしい | 2. どちらかといえば検討してほしい |
| 3. どちらかといえば検討してほしくない | 4. 検討しなくてもよい |
| 5. わからない | |

【自由記載】

本調査について、あるいは新潟市の潟(湖沼)について、ご意見のほか、潟での思い出や、潟にまつわる話などがございましたら、下の欄にご自由にご記入ください。

(特段のご意見等がなければ、空欄のままで構いません。)

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。貴重なお時間をいただき、心から感謝申し上げます。

この調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、**8月8日(月)まで**にご投函ください。

●調査結果の分析

【潟の認知度と来訪経験】（図 1）

16 の潟それぞれについて、認知度と来訪経験の関係をみると、大きく 3 つのグループに分かれる。

- ① 認知度が高いグループ
（認知度が 7 割以上）
鳥屋野潟、福島潟、佐潟、じゅんさい池
の 4 つの潟。行ったことのある人も多い。
- ② 認知度が中程度のグループ
（認知度が 3 割～5 割）
上堰潟、清五郎潟の 2 つの潟。
上堰潟は来訪経験のある人も多いが、
清五郎潟は知名度の割に来訪経験の
ある人は少ない。
- ③ 認知度が低いグループ（2 割以下）
北山池、内沼潟など 10 の潟。
北山池は来訪者がやや多いが、御手洗
潟、十二潟、内沼潟などは、あまり知られ
ておらず来訪経験のある人も少ない。

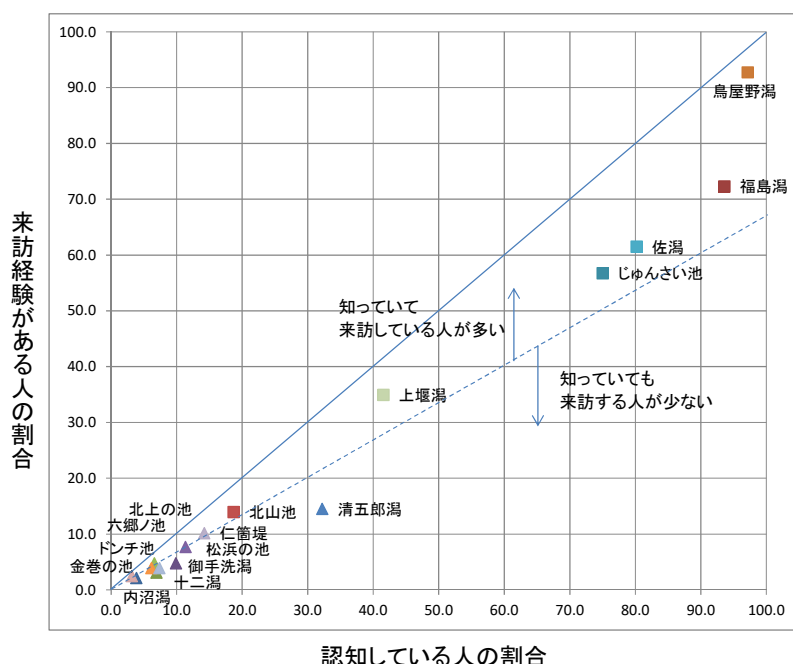


図 1：認知度と来訪経験の関係図

【潟の認知度と紹介経験】（図 2）

認知度と紹介経験の関係についても、同様に 3 つのグループに分かれる。

- ① 認知度の高いグループは、紹介したことのある人も多い。特に福島潟は多くの人に紹介されている。
- ② 認知度が中程度のグループでは、上堰潟を紹介する人は多いが、清五郎潟を紹介する人は少ない。
- ③ 認知度の低いグループは、紹介したことのある人も少ない。

【潟の来訪経験と紹介経験】（図 3）

来訪経験と紹介経験の関係をみると、福島潟や上堰潟は、鳥屋野潟、佐潟、じゅんさい池に比べて紹介したことのある人の割合が高い。

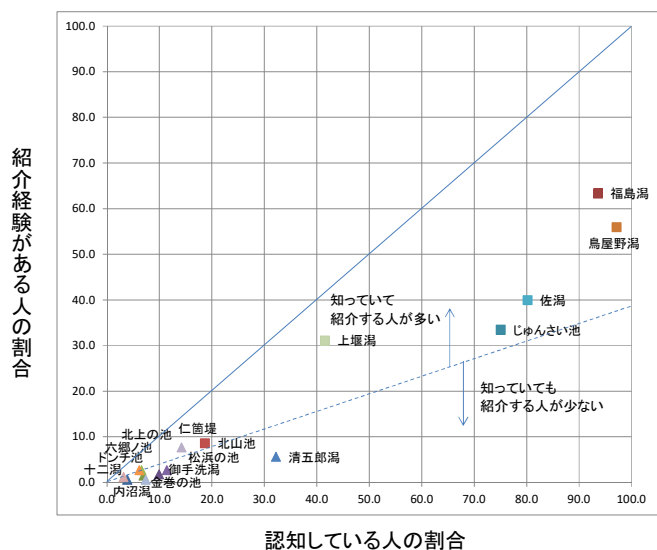


図 2：認知度と紹介経験の関係図

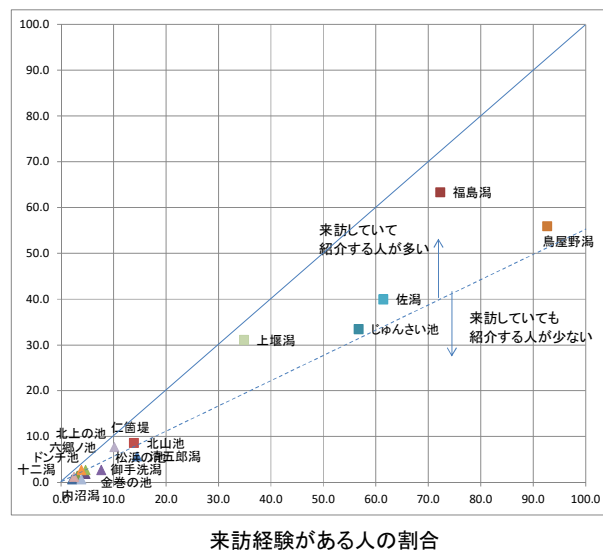
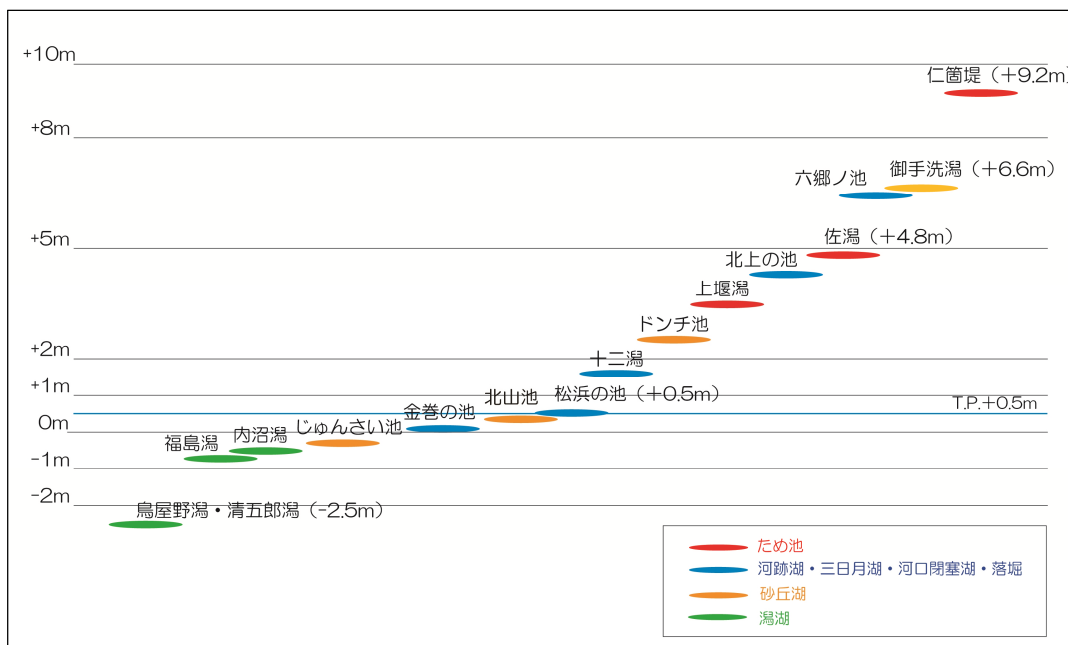


図 3：来訪経験と紹介経験の関係図

図で見る潟の水面標高と面積の比較

①潟の水面標高

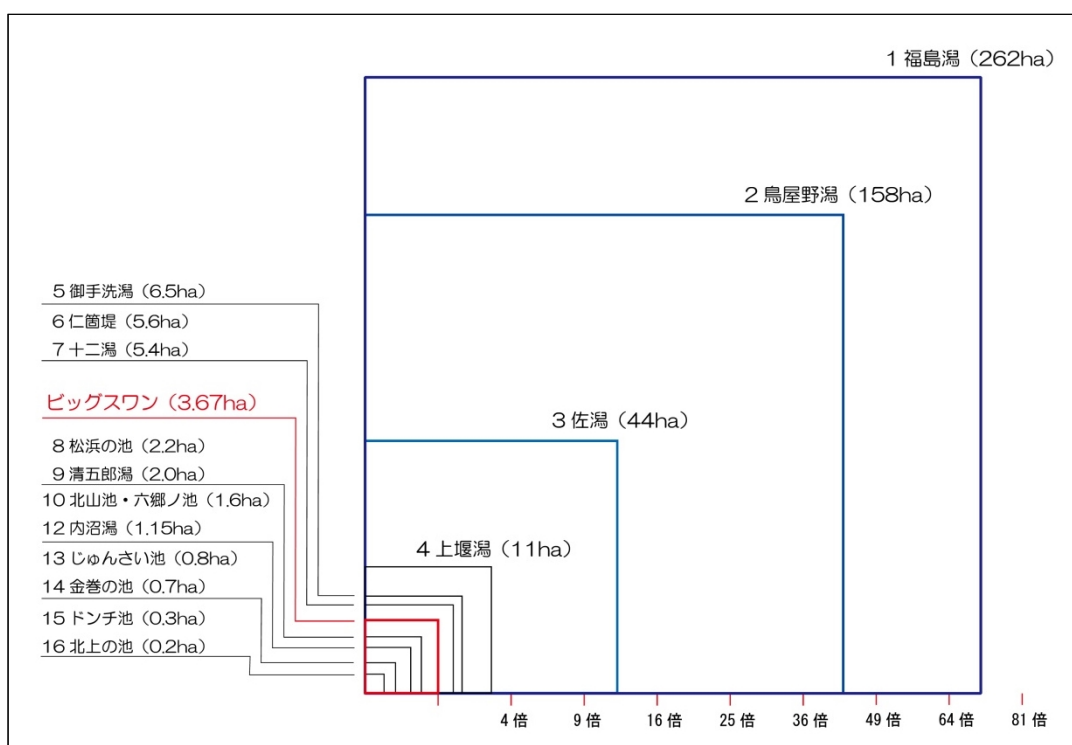
潟の水面標高は T.P. マイナス 2.5 メートルから T.P. プラス 9.2 メートルで、仁箇堤が最も高く、鳥屋野潟、清五郎潟が最も低い。16 の潟のうち北山池など 6 つの潟は水面標高が T.P. 0 メートル以下である。成因別にみると、潟湖は標高が低く、ため池には標高の高いものが多い。



水面標高の比較

②潟の大きさ

潟の大きさを水面の面積で比較すると、福島潟が最も大きく 262 ヘクタール、次いで鳥屋野潟 158 ヘクタール、佐潟 44 ヘクタールなどとなっている。16 の潟のうち半数は水面面積がビッグスワンよりも小さく、最も小さな北上の池は 0.2 ヘクタールである。



面積の比較

16 潟のデータ一覧（平成 28 年度の調査による）

潟環境研究所調べ

	福島潟	内沼潟	十二潟	松浜の池	じゅんさい池	鳥屋野潟	清五郎潟	北山池
所在地	北区新鼻甲ほか、 新発田市	北区 内沼	北区 平林、 十二、灰塚	北区 松浜	東区 松園	中央区 鳥屋野ほか	中央区 清五郎	江南区 北山
面積	約262ha	1.15ha	約5.4ha	約2.2ha	約0.8ha	約158ha	約2.0ha	約1.6ha
水面標高*1	-0.7m	-0.6m	+1.6m	+0.5m	-0.3m	-2.5m	-2.5m	+0.4m
水源	河川	河川	湧水・農業排水	湧水	工業用水	河川・排水路	河川・排水路	地下水・ 農業排水
水位変動	あり (洪水調節)	あり	あり (洪水調節)	あり	ほとんどなし	あり (洪水調節)	あり（鳥屋野潟 と連動）	なし
成因*1	潟湖*2 海岸砂丘で閉塞さ れ、海面の低下と ともに平野の低地 に残された水面、 潟の周囲が築堤さ れたが堤外の水田 が潟に復元された	潟湖*2 海岸砂丘で閉塞さ れ、海面の低下と ともに平野の低地 に残された水面	三日月湖 阿賀野川の蛇行 部が短絡して 残った河跡湖	河口閉塞湖 阿賀野川河口 で、波や風で吹 き寄せられた砂 によって閉塞さ れた水面	砂丘湖 ひとつの砂丘体 の上のくぼ地に できた水面、東 池と西池がある	潟湖*2 海岸砂丘で閉塞 され、海面の低 下とともに平野 のくぼ地に残さ れた水面	潟湖*2 海岸砂丘で閉塞 され、海面の低 下とともに平野 のくぼ地に残さ れた水面	砂丘湖 ひとつの砂丘体 の上のくぼ地に できた水面
湖底の土地 所有形態	国	民有地	民有地	民有地	市	国・県・民	国・市・民	市
農業用水と しての利用	不明	あり	あり	なし	なし	不明	不明	不明
関連公園名 (園内に潟)	水の公園	なし	なし	なし	じゅんさい池 公園	県立鳥屋野潟 公園	なし	北山池公園
公園管理	市	—	—	—	市	県	—	市
漁業権	あり	なし	なし	なし	なし	あり	あり	なし
遊漁の制限	あり (遊漁券)	なし	なし	なし	あり (釣りは禁止)	あり (遊漁券)	あり (遊漁券)	なし

	六郷ノ池	北上の池	佐潟	御手洗潟	ドンチ池	金巻の池	上堰潟	仁箇堤
所在地	秋葉区 六郷	秋葉区 北上	西区 赤塚	西区 赤塚	西区 赤塚、中権寺	西区 木場、金巻	西蒲区 松野尾	西蒲区 仁箇
面積	約1.6ha	約0.2ha	約44ha	約6.5ha	約0.3ha	約0.7ha	約11ha	約5.6ha
水面標高*1	+6.5m	+4.3m	+4.8m	+6.6m	+2.6m	+0.1m	+3.5m	+9.2m
水源	農業排水	湧水	湧水	湧水	湧水	湧水	河川	湧水
水位変動	あり	ほとんどなし	ほとんどなし	ほとんどなし	なし	あり	あり	あり
成因*1	河跡湖 阿賀野川の河道跡 に残った水面	落堀 能代川の洪水が 堤防を越流氾濫 して、洗掘され てできた池	ため池 形成年代が異な る砂丘間の谷地 に、道路を兼ね た堤防が横断す る形で作られた ことで、水が溜 まってできたた め池	砂丘湖 ひとつの砂丘体 の上のくぼ地に できた水面	砂丘湖 ひとつの砂丘体 の上のくぼ地に できた水面	落堀 中ノ口川の洪水 が堤防を越流氾 濫して、洗掘さ れてできた池	人造湖 かつて水面標高 T.P.*+6m程度で あったが、排水 路の掘削により 水位低下で陸化 したところを掘 り下げて造られ た池	ため池 谷地を堤防で閉 め切ってできた ため池
湖底の土地 所有形態	民有地	民有地	国	国	民有地	市・民	市	民有地(共有地)
農業用水と しての利用	不明	なし	緊急時に利用	周辺畑の 灌漑用水	かつては農業用 水に利用	不明	不明	あり
関連公園名 (園内に潟)	なし	なし	佐潟公園	なし	なし	金巻の池公園	上堰潟公園	なし
公園管理	—	—	市	—	—	市	市	—
漁業権	なし	なし	あり	あり	なし	なし	なし	なし
遊漁の制限	あり (池主組合が管理)	なし	あり (遊漁券)	あり (遊漁券)	なし	なし	あり(3/1~5/31 は禁漁)	なし

* 1 水面標高は、東京湾平均海面(Tokyo Peil, T.P.)を基準としています。

* 2 潟環境研究所では、海岸砂丘で閉塞され、海面の低下とともに平野の低地・くぼ地に残された水面を「潟湖」としています。
福島潟、内沼潟、鳥屋野潟、清五郎潟の4つの潟が該当します。

潟の生態系サービスの経済価値試算

近年、生物多様性や生態系サービスを経済的に評価することが注目されています。潟の価値・魅力を広く伝えるための一つの手段として経済的な評価を用いることも有効です。

ここでは環境省発表の「湿地が有する生態系サービスの経済価値評価」で示された経済価値を用いて、本市の潟の価値を試算しました。生態系サービスの経済価値評価には様々な手法があり、経済価値(原単位)の計算は新潟市の事例で計測・計算された値を用いるべきですが、現状では研究が進んでおらず、今後、評価手法の研究が進むことを望み、参考として掲載しています。

表 潟が有する経済的な価値の試算

生態系サービス	潟名 水面の面積 (ha) 原単位*1 (万円/ha・年)	福島潟	内沼潟*2	十二潟	松浜の池	じゅんさい池	鳥屋野潟	清五郎潟	北山池	六郷の池
		262.0	1.15	5.4	2.2	0.8	158.0	2.0	1.6	1.6
気候調整 (二酸化炭素の吸収)	3.1	812.2	3.6	16.7	6.8	2.5	489.8	6.2	5.0	5.0
気候調整(炭素蓄積) 上段:種富湿原 下段:コムケ湖湿原	58.0	15,196.0	66.7	313.2	127.6	46.4	9,164.0	116.0	92.8	92.8
	105.0	27,510.0	120.8	567.0	231.0	84.0	16,590.0	210.0	168.0	168.0
水量調整	59.0	15,458.0	67.9	318.6	129.8	47.2	9,322.0	118.0	94.4	94.4
水質浄化 (窒素の吸収)	343.0	89,866.0	394.5	1,852.2	754.6	274.4	54,194.0	686.0	548.8	548.8
生息・生育環境の提供	163.0	42,706.0	187.5	880.2	358.6	130.4	25,754.0	326.0	260.8	260.8
自然景観の保全	95.0	24,890.0	109.3	513.0	209.0	76.0	15,010.0	190.0	152.0	152.0
レクリエーションや環境教育 上段:釧路湿原 下段:雨竜沼湿原	9.6	2,515.2	11.0	51.8	21.1	7.7	1,516.8	19.2	15.4	15.4
	90.0	23,580.0	103.5	486.0	198.0	72.0	14,220.0	180.0	144.0	144.0
合計1 (気候調整、レクリエーションや環境教育の上段の数値)		191,400	800	3,900	1,600	600	115,500	1,500	1,200	1,200
合計2 (気候調整、レクリエーションや環境教育の下段の数値)		224,800	1,000	4,600	1,900	700	135,600	1,700	1,400	1,400

生態系サービス	潟名 水面の面積 (ha) 原単位*1 (万円/ha・年)	北上の池	佐潟	御手洗潟	ドンチ池	金巻の池	上堰潟	仁箇堤	瓢湖	鑑潟*3
		0.2	44.00	6.5	0.3	0.7	11.0	5.6	24.0	270.0
気候調整 (二酸化炭素の吸収)	3.1	0.6	136.4	20.2	0.9	2.2	34.1	17.4	74.4	837.0
気候調整(炭素蓄積) 上段:種富湿原 下段:コムケ湖湿原	58.0	11.6	2,552.0	377.0	17.4	40.6	638.0	324.8	1,392.0	15,660.0
	105.0	21.0	4,620.0	682.5	31.5	73.5	1,155.0	588.0	2,520.0	28,350.0
水量調整	59.0	11.8	2,596.0	383.5	17.7	41.3	649.0	330.4	1,416.0	15,930.0
水質浄化 (窒素の吸収)	343.0	68.6	15,092.0	2,229.5	102.9	240.1	3,773.0	1,920.8	8,232.0	92,610.0
生息・生育環境の提供	163.0	32.6	7,172.0	1,059.5	48.9	114.1	1,793.0	912.8	3,912.0	44,010.0
自然景観の保全	95.0	19.0	4,180.0	617.5	28.5	66.5	1,045.0	532.0	2,280.0	25,650.0
レクリエーションや環境教育 上段:釧路湿原 下段:雨竜沼湿原	9.6	1.9	422.4	62.4	2.9	6.7	105.6	53.8	230.4	2,592.0
	90.0	18.0	3,960.0	585.0	27.0	63.0	990.0	504.0	2,160.0	24,300.0
合計1 (気候調整、レクリエーションや環境教育の上段の数値)		100	32,200	4,700	200	500	8,000	4,100	17,500	197,300
合計2 (気候調整、レクリエーションや環境教育の下段の数値)		200	37,800	5,600	300	600	9,400	4,800	20,600	231,700

- * 1 平成 26 年 5 月 23 日、環境省が発表した「湿地が有する経済的な価値の評価結果」で示された上記の原単位を用いて、市内の 16 の潟と昭和 30 年頃の鑑潟の経済的な価値を試算しています(原単位(円)×面積(ha))。湿地タイプは、湿原(高層湿原・中間湿原・低層湿原)及び干潟に分類されており、ここでは湿原(低層湿原)の値を用いています。
- * 2 面積は、潟 MAP 第 3 版(新潟市潟環境研究所, 平成 29 年 3 月)によります。
- * 3 鑑潟は、昭和 30 年代当時の水面面積に基づいています。

資料: 環境省発表「湿地が有する経済的な価値の評価結果について(平成 26 年 5 月 23 日)」

原単位の計算と国内の湿地が有する生態系サービスの経済価値評価については、こちらを参照のこと。

参考文献

潟の生態

卯田強(2009) 改訂版 福島潟のおいたち. 湖研究会(新潟大学理学部自然環境科学科卯田研究室),1-6
 沖野外輝夫(1997) 3生物相の変遷. アーバンクボタ 36, 久保田鉄工株式会社,20-41
 沖野外輝夫(2002) 新・生態学への招待 湖沼の生態学. 共立出版,2-52,156-188
 佐野静代(2008) 「里湖」研究の意義—水辺の「二次的自然」をめぐる—. 滋賀大学環境総合研究センター研究年報, 5 (1) 31-37
 多田多恵子・田中肇(2010) 大自然のふしぎ 増補改訂 植物の生態図鑑. 学習研究社,62-63
 只木良也(1997) 遷移と森林生態の保全. 森林科学 20:37-40
 日本陸水学会(編)(2006) 陸水の事典. 講談社, 275
 野崎健太郎・村瀬潤・山田佳裕(2002) 沿岸帯研究の意義. 陸水学雑誌, 63:221-223

潟の生物

新潟市(2012) いがた命のつながりプラン—新潟市生物多様性地域計画—. 新潟市,14, 20-21,31,43-45

潟の成り立ち

青木滋・歌代勤・高野武男・茅原一也・長谷川正・長谷川康雄・藤田至則(1979) 3新潟平野の形成とその災害をめぐる. アーバンクボタ 17, 特集—信濃川と新潟平野 久保田鉄工株式会社, 22-43
 卯田強(2009) 改訂版 福島潟のおいたち. 湖研究会(新潟大学理学部自然環境科学科卯田研究室),1-6
 嶋井幸彦(2016) 「ほくろく地盤情報システム」を利用した越後平野中央部における防災基本情報としての泥炭層(軟弱地盤)の分布解明. 平成27年度 第20回「北陸地域の活性化」に関する研究助成事業論文集. 一般社団法人 北陸地域づくり協会, 67-72
 嶋井幸彦・田中里志・安井賢(2006) 越後平野における砂丘列の形成年代と発達史. 第四紀研究, 45(2), 67-80
 嶋井幸彦・田中里志・安井賢(2015) 暦年較正年代による新潟砂丘列の形成年代の見直し. 第四紀研究, 54(3), 139-143
 嶋井幸彦・安井賢(2004a) 越後平野の古地理的変遷. 日本第四紀学会 2004年大会講演要旨集, 34, 45-46
 嶋井幸彦・安井賢(2004b) 古地理図でたどる越後平野の生い立ち. 土と基礎, 52(11), 8-10
 嶋井幸彦・安井賢・小林巖雄(2002) 越後平野中央部における沖積層層序の再検討. 地球科学, 56(2), 123-138.
 巻町(編)(1994) 巻町史 通史編 上. 巻町
 国土交通省北陸地方整備局企画部・公益社団法人地盤工学会北陸支部(2012) 新潟県内液状化しやすさマップ.
 国土交通省北陸地方整備局信濃川河川事務所, 小林 巖雄(監修)(2007) 『信濃川・越後平野の地形と地質～信濃川・越後平野の生い立ちを語る～』北陸建設弘済会
 新潟県地盤図編集委員会編(2002) 新潟県地盤図および説明書. (社)新潟県地質調査業協会, 66.
 新潟市編(2011) 新・新潟歴史双書 6 新潟砂丘- 新潟市,2-21
 新田義信(2006) 『越後平野のなりたち』野島出版,78-83
 安井賢・小林巖雄・嶋井幸彦・渡辺久男・石井久夫(2001) 越後平野中央部, 白根地域における完新世の環境変遷. 第四紀研究, 40(2),121-136

潟の開発の歴史

青木滋・歌代勤・高野武男・茅原一也・長谷川正・長谷川康雄・藤田至則(1979) 3新潟平野の形成とその災害をめぐる. アーバンクボタ 17, 特集—信濃川と新潟平野 久保田鉄工株式会社, 22-43
 岩野邦康(2009) 平成21年度企画展 蒲原平野の20世紀—水と土の近代—. 新潟市歴史博物館,5-7,33-38,61-69
 岩野邦康(2012) 平成24年度企画展 開墾の技術史—蒲原平野のたんぼとはたけ—. 新潟市歴史博物館,14-15,18-22
 大熊孝(1979) 4信濃川治水の歴史. アーバンクボタ 17, 久保田鉄工株式会社, 44-50
 加藤功(文責)(2007) 図説越後 新川開削 ～川の上を流れる川がある～. 歴史研究グループ「若さの会」編集委員会 2-17
 関川義蔵(2009) 越後平野と川. 新潟県地名研究会編集委員(編)越佐の地名第9号. 新潟県地名研究会 8-29
 武田広昭・太刀川静夫(1970) 「福島潟における新田村落の展開」『福島潟干拓地域民俗緊急調査報告書 福島潟 -1970-』新潟県教育委員会,1-30
 新潟市(編)(2009) 『新・新潟歴史双書 4-内野新川-』新潟市
 農業農村整備情報総合センター(編)(1997) 「水と土と農・シリーズその1 “新潟”であるために・十章」
 農林水産省北陸農政局信濃川水系土地改良調査管理事務所・亀田郷農業水利事業建設所(2008) 「芦沼昭紀・亀田郷・未来への礎」株式会社オルタナティブコミュニケーションズ
 農林水産省北陸農政局 新潟県農地部 新潟県土地改良事業団体連合会

潟の生業

岩野邦康(2009) 平成21年度企画展 蒲原平野の20世紀—水と土の近代—. 新潟市歴史博物館
 岩野邦康(2012) 平成24年度企画展 開墾の技術史—蒲原平野のたんぼとはたけ—. 新潟市歴史博物館
 新潟市編(2011) 新・新潟歴史双書 6 新潟砂丘- 新潟市,41-43
 金塚友之丞(1970) 『蒲原の民俗』, 2～5,253～261
 豊栄市民俗調査会(1999) 『豊栄市史』民俗編, 54-56,427-430
 新潟市史編さん民俗部会 1991 『新潟市史』資料編 10 民俗 1, 237,313～320
 新潟市史編さん民俗部会 1994 『新潟市史』資料編 11 民俗 2, 234～237
 巻史学会 1962 『蒲原の民具』巻町双書第4集, 33-36
 新潟市ホームページ「新潟市の歴史」(参照 2015-3-16)
 巻町(1992) 巻町史 資料編 民俗.
 農山漁村文化協会(1985) 聞き書 新潟の食事.
 新潟市歴史博物館(2007) 舟と船大工. 51-53

潟の暮らし文化

豊栄市民俗調査会(1999) 『豊栄市史』民俗編,432,531-536
 新潟市(2011) 『新潟砂丘』新潟歴史双書 6,22-24
 新潟市史編さん民俗部会(1991) 『新潟市史』資料編 10 民俗 1,172-175,733-750
 新潟市史編さん民俗部会(1994) 『新潟市史』資料編 11 民俗 2,49,159-162,530-550
 新潟市歴史博物館(2007) 『舟と船大工』47-58
 新潟市歴史博物館(2009) 『蒲原平野の20世紀』
 新潟市歴史博物館(2012) 『開墾の技術史』
 新潟市ホームページ「新潟市の歴史」(参照 2015-3-16)
 農山漁村文化協会(1985) 『聞き書 新潟の食事』14-24
 巻町(1992) 『巻町史』資料編民俗,334

福島潟

今西錦司・井上靖(監修)(1987) 日本の湖沼と溪谷 8 北陸・越後. ぎょうせい, 70-74
 卯田強(2009) 「改訂版 福島潟のおいたち」湖研究会(新潟大学理学部自然環境科学科卯田研究室内), 1-6
 NPO 法人ねっとわーく福島潟(2003) 『潟先案内 ようこそ福島潟へ』, 1-80
 お宝ものがたり編集部北宝隊(2009) ガイドブック 北区のお宝ものがたり. 新潟市北区役所, 6-9
 株式会社グリーンシグマ(1988) NIRA 研究叢書 NO.880008「福島潟の環境保全と地域活性化手法の研究」
 新潟県教育委員会(1970) 福島潟干拓地域民俗緊急調査報告書 福島潟 -1970-. 新潟県教育委員会, 1-30, 47-116
 水の駅「ビュー福島潟」(2014) 日本最大の越冬地 福島潟のオオヒシクイ. 新潟市, 1-14

内沼潟

内沼ものがたり編集部(2016) 内沼ものがたり. 内沼自治会 32-33
 お宝ものがたり編集部北宝隊(2009) ガイドブック北区のお宝ものがたり. 新潟市北区役所 39

十二潟

お宝ものがたり編集部北宝隊(2009) ガイドブック 北区のお宝ものがたり. 新潟市北区役所 38
 新潟市北区役所区民生活課作成, 株式会社グリーンシグマ(編)(2013) 十二潟ガイドブック阿賀野川のかつての姿を残す三日月湖-

松浜の池

「ガイドブック 北区のお宝ものがたり」2009 新潟市北区役所発行 お宝ものがたり編集部北宝隊 30
 史跡・史料・史実 ニイガタカラ. Net (<http://www.city.niigata.jp/info/bunka/niigatakara/>)

じゅんさい池

中地区地域学活気連(2005) 『じゅんさい池サミットレポート』
 新潟市史編さん自然部会(編)(1991) 新潟市史 資料編 12 自然. 新潟市 29
 新潟市編(2011) 『新・新潟歴史双書 6-新潟砂丘』新潟市 128-129, 135-136

鳥屋野潟

今西錦司・井上靖(監修)(1987) 日本の湖沼と溪谷 8 北陸・越後. ぎょうせい, 70-74
 笠原一朗(2003) かくして鳥屋野潟は残った一潟を守った女池農民と市民の運動一. 鳥屋野潟研究会, 20-37
 新田義信(2006) 『越後平野のなりたち』野島出版, 53-55, 82-83

清五郎潟

大野儀一(編)(1985) 「清五郎の今昔」

北山池

新潟市編(2011) 『新・新潟歴史双書 6-新潟砂丘』新潟市 20-21, 44, 135-136

新潟市史編さん自然部会(編)(1991) 新潟市史 資料編 12 自然. 新潟市 28-29
 丸山小学校(平成 5 年)丸山校区歴史散歩

北上の池

三興野郷土史編纂委員会(1984) 三興野郷土史

佐潟

日本のラムサール条約湿地. 環境省 28
 新潟市(2014) 佐潟周辺自然環境保全計画

御手洗潟

新潟市立総合教育センター科学教育・新潟市中学校教育研究協議会理科部(1996) 地域素材開発 新潟の自然 21
 新潟市史編さん自然部会(編)(1991) 新潟市史 資料編 12 自然. 新潟市 28
 新潟市編(2011) 『新・新潟歴史双書 6-新潟砂丘』新潟市, 20-21 43-44

ドンチ池

新潟市立総合教育センター科学教育・新潟市中学校教育研究協議会理科部(1996) 地域素材開発 新潟の自然 17-18
 新潟市編(2011) 『新・新潟歴史双書 6-新潟砂丘』新潟市, 20-21

金巻の池

新潟市水道局(編)(2011) 「水を語る」新潟市水道 100 年誌. 新潟市水道局, 120
 黒埼町(1997) 黒埼町史 資料編 6 民俗. 黒埼, 455

上堰潟

新潟市(2009) 「新潟市文化振興行動計画(平成 21 年度～22 年度)」新潟市の文化資源 西蒲区. 新潟市, 236
 巻町教育委員会(2000) 『別冊双書 巻町の文化財第三集』巻町教育委員会, 2
 巻町閉町記念誌編集委員会「光あふれる大地から 新潟県巻町閉町記念誌」平成 17 年 新潟県巻町発行, 80
 細山昇(2001) 『野鳥新潟第 114 号』新潟県野鳥愛護会, 4-5
 史跡・史料・史実 ニイガタカラ. Net (<http://www.city.niigata.jp/info/bunka/niigatakara/>)

仁箇堤

金塚 友之丞(1970) 蒲原の民俗 野島出版, 62-67, 253-261
 新潟県巻町発行 企画課 「広報まき」第 408 号(1983.3), 第 411 号(1983.5)第 520 号(1987.11)第 576 号(1990.3)第 577 号(1990.4)第 593 号(1990.12)第 616 号(1991.11)新潟県巻町発行
 新潟市(2009) 「新潟市文化振興行動計画(平成 21 年度～22 年度)」新潟市の文化資源 西蒲区. 新潟市, 236
 史跡・史料・史実 ニイガタカラ. Net (<http://www.city.niigata.jp/info/bunka/niigatakara/>)